



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月9日

上場会社名 株式会社歌舞伎座 上場取引所 東  
 コード番号 9661 URL http://www.kabuki-za.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 信義  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高橋 克彦 (TEL) 03-3541-5572  
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	4,189	576.5	691	—	693	—	436	—
25年2月期第3四半期	619	11.0	△207	—	△185	—	△126	—

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 396百万円(437.5%) 25年2月期第3四半期 73百万円(△47.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	36.04	—
25年2月期第3四半期	△10.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	28,013	9,315	33.3
25年2月期	27,800	8,989	32.3

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 9,315百万円 25年2月期 8,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,386	538.9	812	—	805	—	491	—	40.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に該当します。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年2月期3Q	12,170,000株	25年2月期	12,170,000株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	62,969株	25年2月期	60,879株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年2月期3Q	12,108,168株	25年2月期3Q	12,109,939株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の背景、前提条件等につきましては、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 会計方針の変更等	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却を目的とした経済政策・金融政策等の効果による円高修正や株高を起点として、景気が緩やかに回復する状況で推移いたしました。

当社グループにおきましては、平成25年2月に主たる事業所である劇場歌舞伎座の建替え工事を完了し、3月1日に木挽町広場をオープン、4月2日には劇場歌舞伎座も開場いたしました。このような情勢のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,189,021千円(前年同期比576.5%増)、営業利益は691,074千円(前年同期は207,179千円の営業損失)、経常利益は693,855千円(前年同期は185,882千円の経常損失)、四半期純利益は436,408千円(前年同期は126,789千円の四半期純損失)となりました。

これをセグメント別にみると、不動産賃貸事業については、新劇場及び木挽町広場店舗等の賃料収入により、売上高が1,364,769千円(前年同期比227.4%増)、セグメント利益は687,737千円(前年同期比601.0%増)となりました。

食堂・飲食事業については、新規店舗の増加により、売上高は839,488千円(前年同期比431.5%増)となりました。開業に伴う初期費用の発生及び劇場内店舗の営業開始が4月であったこと等により、セグメント損失は46,837千円(前年同期はセグメント損失50,391千円)となりましたが、当第3四半期連結会計期間については2,463千円のセグメント利益となりました。

売店事業については、木挽町広場の新店舗及び劇場内の売店等が引続き好調に推移したことにより売上高は1,984,763千円(前年同期は44,486千円)、セグメント利益は412,766千円(前年同期は10,334千円)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ212,939千円増加し、28,013,071千円となりました。

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ419,119千円増加し、1,696,874千円となりました。主な要因は、現金及び預金、売掛金及びたな卸資産の増加並びに未収消費税等の還付による減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ206,179千円減少し、26,316,196千円となりました。主な要因は、減価償却による固定資産の減少及び投資有価証券の時価評価による減少であります。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ366,733千円増加し、1,662,594千円となりました。主な要因は、買掛金及び前受金の増加並びに長期借入金から振替えたことによる1年内返済予定の長期借入金の増加に対して、返済による短期借入金の減少及び未払金の減少等であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ479,111千円減少し、17,035,443千円となりました。主な要因は、流動負債に振替えたことによる長期借入金及び長期前受金の減少並びに繰延税金負債の増加等であります。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ325,317千円増加し、9,315,032千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の減少であります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しており、現時点におきましては、平成25年10月10日に発表した業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を変更しております。なお、この変更を行った理由及び当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は8ページ(4)会計方針の変更等、セグメントに与える影響額は8ページ(5)セグメント情報等に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	606,385	1,511,687
受取手形及び売掛金	22,429	66,332
たな卸資産	19,263	62,880
未収消費税等	591,550	—
繰延税金資産	6,903	21,516
その他	31,709	35,092
貸倒引当金	△487	△635
流動資産合計	1,277,755	1,696,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,737,971	11,599,179
土地	6,238,098	6,238,098
建設仮勘定	24,184	—
その他(純額)	444,307	485,141
有形固定資産合計	18,444,562	18,322,419
無形固定資産		
借地権	2,613,299	2,613,299
商標権	568	513
施設利用権	16,268	15,450
ソフトウェア	4,658	15,875
無形固定資産合計	2,634,794	2,645,139
投資その他の資産		
投資有価証券	4,822,888	4,760,266
長期前払費用	569,964	558,074
繰延税金資産	20,127	—
その他	32,733	32,989
貸倒引当金	△2,694	△2,694
投資その他の資産合計	5,443,019	5,348,637
固定資産合計	26,522,376	26,316,196
資産合計	27,800,131	28,013,071

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	27,752	361,413
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	23,000	485,750
未払金	625,737	183,687
未払法人税等	6,926	65,708
前受金	330,323	406,021
賞与引当金	11,402	3,384
1年内返還予定の預り保証金	30,000	30,000
その他	40,719	126,629
流動負債合計	1,295,861	1,662,594
固定負債		
長期借入金	2,477,000	2,014,250
長期未払金	136,470	117,270
長期前受金	14,371,257	14,151,649
繰延税金負債	287,705	458,663
退職給付引当金	37,549	41,685
長期預り保証金	204,573	230,968
その他	—	20,955
固定負債合計	17,514,555	17,035,443
負債合計	18,810,416	18,698,038
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,365,180	2,365,180
資本剰余金	3,256,073	3,256,367
利益剰余金	2,499,490	2,875,354
自己株式	△265,409	△275,950
株主資本合計	7,855,334	8,220,951
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	1,134,380	1,094,081
その他の包括利益累計額合計	1,134,380	1,094,081
純資産合計	8,989,715	9,315,032
負債純資産合計	27,800,131	28,013,071

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	619,255	4,189,021
売上原価	523,097	3,092,062
売上総利益	96,158	1,096,958
販売費及び一般管理費		
人件費	202,015	240,038
賞与引当金繰入額	658	1,703
退職給付費用	3,200	8,101
租税公課	7,731	10,854
減価償却費	2,236	4,760
その他	87,495	140,425
販売費及び一般管理費合計	303,337	405,884
営業利益又は営業損失(△)	△207,179	691,074
営業外収益		
受取利息	4,475	139
受取配当金	16,442	16,427
協賛金収入	—	5,720
その他	5,158	9,069
営業外収益合計	26,076	31,357
営業外費用		
支払利息	3,600	27,060
有形固定資産除却損	—	1,149
その他	1,180	365
営業外費用合計	4,780	28,575
経常利益又は経常損失(△)	△185,882	693,855
特別利益		
固定資産受贈益	5,000	3,100
特別利益合計	5,000	3,100
特別損失		
有形固定資産除却損	10,230	—
特別損失合計	10,230	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△191,112	696,955
法人税、住民税及び事業税	1,662	61,751
法人税等調整額	△65,985	198,795
法人税等合計	△64,323	260,546
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△126,789	436,408
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△126,789	436,408

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△126,789	436,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	200,471	△40,298
その他の包括利益合計	200,471	△40,298
四半期包括利益	73,682	396,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,682	396,110

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 会計方針の変更等

当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日至平成25年11月30日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
従来、当社及び連結子会社は、有形固定資産の建物及び構築物(平成10年4月1日以降に取得した建物を除く)、機械装置及び運搬具、並びに、工具、器具及び備品の減価償却方法について定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。	
当社及び連結子会社は、長期安定的な収入をもたらす賃貸不動産を所有しており、減価償却について、賃貸収益に対応する費用は賃貸期間にわたり均等に配分することが、より適正な費用配分となり、経営の実態を適切に表現できると判断したことによるものであります。	
この変更により、従来の方法によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ401,560千円増加しております。	

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	416,828	157,940	44,486	619,255	—	619,255
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	170	67	238	△238	—
計	416,828	158,111	44,554	619,494	△238	619,255
セグメント利益又は損失(△)	98,113	△50,391	10,334	58,056	△265,235	△207,179

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△265,235千円は、セグメント間取引消去△123千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△265,112千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,364,769	839,488	1,984,763	4,189,021	—	4,189,021
セグメント間の内部売上高 又は振替高	177,304	1,199	247	178,751	△178,751	—
計	1,542,073	840,688	1,985,011	4,367,773	△178,751	4,189,021
セグメント利益又は損失(△)	687,737	△46,837	412,766	1,053,666	△362,592	691,074

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△362,592千円は、セグメント間取引消去△13,948千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△348,643千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

会計方針の変更等に記載の通り、当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を変更しております。

これにより、従来の方法によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、不動産賃貸事業で378,394千円、食堂・飲食事業で15,546千円、売店事業で6,547千円それぞれ増加しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。